

第 16 回国際エチオピア学会

に参加して

金子守恵

はじめに

2007年7月2日から6日にかけて、ノルウェーのトロンハイムにおいて第16回国際エチオピア学会学術大会が開催された。トロンハイムはオスロの北、約400キロにある、ノルウェー第3の都市(人口約15万人)である。会期中の5日間、晴天にめぐまれあたたかい日が続いた。今回は、ノルウェー科学技術大学(以下、NTNU)が主催校となって開催された。学会参加者は245名であった。4年前にドイツ・ハンブルグで開催された学会(377名※1)と比べると参加者は少なくなっていたが、充実した会だった。

日本ナイル・エチオピア学会員では、石原美奈子(南山大学)、伊藤義将(京都大学、以下京大)、大場千景(総合大学院大学)、金子守恵(京大)、川瀬慈(京大)、児玉由佳(アジア経済研究所)、佐川徹(京大)、重田眞義(京大)、シモーネ・タルシタニ(京大)、曾我亨(弘前大学)、田川玄(広島市立大学)、藤本武(人間環境大学)、ベル・アサンテ(京大)、真城百華(津田塾大学)、松波康男(南山大学)、宮田寛章(京大)、吉田沙悠里(名古屋大学)(以上、50音順・敬称略)が参加した。また日本ナイル・エチオピア学会員以外では大日向史子(ユネスコ)、高塚千雪(ロンドン大学)の両氏が参加発表した。日本からの参加者は、エチオピア(62名。うち44名が招待)、アメリカ(28名)、ドイツ(28名)に次ぐ18名であった^{※2}(以下、ノルウェー16名、フランス10名、イタリア6名ほか)。

全体&合同セッション

全体セッション

参加者245名のうち、発表数は約200であった(当日配布された補足資料によれば九つの発表が新たに追加された。キャンセル数は未確認)。学会開催中の4日間(7月2～5日)、個人研究発表の前に全体セッションがおこなわれた。全体セッションの主なテーマは次のとおり。1日目:「音楽」「選挙と人権」、2日目:「イスラム」、3日目:「生態史」「子ども」「映像」、4日目:「学生運動」「教育」、5日目:「EAE」(Encyclopaedia Aethiopica)「FSS」(Forum for Social Studies)「開発」「ICESの今後」(計18演題)。

初日の全体セッションでは、ユネスコとノルウェー政府によるプロジェクト(期間：2005～2008年)についての中間発表があった(ユネスコが関わるプロジェクトをICESで報告するのは初めて)。発表者は、当時ユネスコ・アジスアベバオフィスに勤務していた大日向史子氏で(現在ナイロビオフィス勤務)。エチオピアの音楽活動(音楽、ダンス、楽器)についての映像を撮影・収集した成果について報告した。今後の希望として、アジスアベバ大学にエチオピア音楽に関する協力講座を開設することなどを述べた(Progress of the UNESCO / Norway Funds-in-Trust cooperation project (2005 - 2008): Ethiopia-Traditional Music, Dance, and Instrument”)。

また7月4日, James C. McCann氏が, エチ

オピア高地で近年急速に増加しはじめたマラリアに関する学際的な研究成果について報告した(Maize and the Agro-Ecology of Malaria: The Latest Evidence from Ethiopia)。開始5分前には、会場内に準備した椅子にすわりきれないほど人が入り、通路に椅子をならべるほどの盛況ぶりであった(写真1)。McCann氏は、エチオピア南部ジンマ地域周辺で1990年代後半からマラリアの感染率が急激に増加した背景として、マラリアを媒介するハマダラ蚊の生態と、トウモロコシの改良品種導入、湿地域への栽培面積の拡大との関連性について指摘した。研究成果は、エチオピアや海外の昆虫学者、病理学者、人類学者、歴史学者などが共同研究をおこなった結果見いだされたものであり、国際的・学際的な研究の可能性を示すものであった。

合同セッション

各全体セッションのあとには、合同セッションが八つもつけられた(カッコ内の数字は発表数)。(A)歴史と考古学[29]、(B)人類学[28]、(C)政治と開発[31]、(D)都市研究・子ども・ジェンダー・人権[29]、(E)言語学[32]、(F)音楽と芸術[16]、(G)イスラム・エチオピア正教会・教育[21]、(H)映像[9]。社会科学的研究についての報告が多くを占めた(詳細については「第16回国際エチオピア学会プログラム」を参照)。

日本からの研究発表は20^{※3}で、各セッションでの発表数は次のとおり。(A)歴史と考古学: 1、(B)人類学: 9、(C)政治と開発: 4、(D)都市研究・子ども・ジェンダー・人権: 0、(E)言語学: 0、(F)音楽と芸術: 1、(G)イスラム・エチオピア正教会、教育: 2、(H)映像: 3。各セッション会場は比較的近くに割り振られていたが、発表ごとに休憩時間もつけられていなかったため、移動の間に開始時間に遅れたり、聞き逃してしまうこともあった。

Bセッション(人類学)では、牧畜民を対象にした研究発表が多くを占めていた。エチオピアの牧畜民研究において中心的な研究テーマのひとつである民族間の紛争について、ドイツや日本の若手研究者たちが中心に報告した。資源利用、モノ・情報の交換などに関して定量的なデータをもとに平時における民族間の友好的な関係を提示した

写真
1

7月4日の全体セッション(生態学)は、今回の学会のなかでは数少ない自然科学的な分析をふまえた学際的な報告であった。



り、戦争に向かう男性や送り出す女性による戦争のとらえ方や対応の仕方とその社会的・文化的文脈について報告があり、民族間の紛争をより多面的に理解する可能性をひらくものであった。また、Alura Pankhurst氏は、エチオピア北部地域の人々による自らの経済的な状況評価とその変化について報告した。外部からの客観的な評価基準ではとらえきれないローカルな経済状況についての評価基準が具体的に提示され、興味深いものであった。事前登録していたものの、事務局のミスでセッション時間外に発表することになったため聴衆が非常に少なかったのが残念だった。

Fセッション(音楽と芸術)では、音楽学的な研究成果だけではなく、音声記録などの調査活動をめぐる調査者とインフォーマントとの関わり方や、記録した音声データの共有の仕方など、地域住民への影響や関わり方についての興味深い報告があった(Digital Sound Archives and Libraries)。このセッションで興味ぶかかったのは、ガンベラの難民キャンプにおける伝統的なダンスや歌の復活についてのWendy James氏の報告であった。民族音楽学的な知見からだけではなく、人類学や開発研究にたずさわる研究者にとっても興味深いものではないかと感じた(Music, Song, and Dance of Blue Nile Borderlands: Revivals in the Refugee Context)。

Dセッション(都市研究・子ども・ジェンダー・人権)で興味ぶかかったのは「子ども」のパネルであった。学会主催校であるNTNUのNOSEB (Norwegian

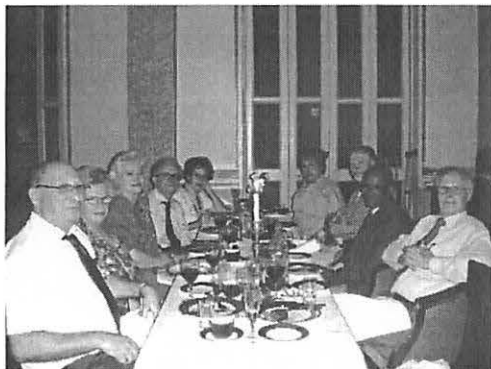


写真2 レセプション（7月5日）に参加した国際コミティーメンバ

Center for Child Research)^{※4}の所長Anne Trine氏がチェアを務め、発表者はエチオピアからNOSEBに留学している大学院生とアジスアベバ大学に勤めているNOSEB卒業生であった。統計的な資料からだけでは理解できない、首都や中規模都市に生きる子供たちの労働状況や、子どもたち自身による仕事や学校に対する見解について報告した。近代的な教育システムではすくいあげられない、都市に生きる子どもたちの社会化や生活実践を理解するうえで貴重な報告であった(My shop is my school)。

Hセッション(映像)は、日本とドイツの若手研究者が中心となっておこなわれた。1997年に日本で学会が開催されたときに映像作品を発表していたIvo Strecker氏やJean Lydall氏が、今回も作品を発表した^{※5}。両氏は、このセッションで上映した作品を南オモ・リサーチセンターの成果のひとつとしてDVDにして販売していた。

学会が開催された建物内の廊下やロビーでは、映像作品以外にエンサイクロペディアなどの書籍販売や宣伝がおこなわれた。日本ナイル・エチオピア学会は、閲覧用として*Nilo-Ethiopian Studies*の最新号を数冊用意した。エチオピアに関する調査研究だけを学会誌として刊行しているのは日本ナイル・エチオピア学会だけで、関心をもってくれた参加者からは送り先・連絡先などを受け付けた。また今回から、国際組織委員会のメンバーが福井勝義前会長から重田眞義現副会長へと交代した(写真2)。

おわりに

ープロシーディングスの刊行予定と
今後の国際学会ー

今回の国際学会で報告された発表は、プロシーディングスとして刊行される目処がたっていない^{※6}。プロシーディングス刊行に目処がたっていない背景としては、いくつかのことが考えられるが、ノルウェーでの学会開催の決定が遅かったことが大きく影響していると考えられる。

当初、第16回大会はイタリアで開催される予定であったが、資金面などさまざまな困難から開催が不可能となり、前回のハンブルグの大会(2003年)から4年おいてノルウェーで開催されることとなった。最終日(7月6日)のビジネスセッションでは、今後の国際エチオピア学会の開催地について議論する場がもうけられた。イタリアで開催できなかったことをうけて、資金を集める難しさについて話題が集まり、エチオピア人研究者からは、今後エチオピアだけで開催してはどうかという提案もあった。ビジネスセッションでは、次回第17回大会がエチオピアで開催予定であることを確認したのみで、第17回以後の開催地について具体的なことは決定されなかった。

今回の学会は、Harald Aspan氏とSvein Ege氏を中心となり、10数名の実行委員で準備された。わずか1年ほどで準備したとはおもえないほど、さまざまな場面(ホテルと学会会場の移動、パーティ会場への移動、コンサート、パーティ、エクスカージョ



写真3 参加登録受付(7月2日)。エチオピアで注文製作したカバンとスカーフは、エチオピアからの参加者がスーツケースにいれて運んできてくれた。



写真4 エチオピア音楽とノルウェー音楽のジョイント・コンサートの様子(7月4日)



写真5 鉱山博物館のなかでのミニ・コンサートの様子。ノルウェーの伝統的な曲を合唱してくれた(7月6日)

ンなど)でこまやかな配慮が感じられる会であった。身障者への配慮も行き届いており、すべての人がセッションやエクスカーションにほぼ支障なく参加することができた。受付では、学会プログラムとともにエチオピアの布地で作った水色のカバンとスカーフが配布された(写真3)。

学会後のパーティやエクスカーションもよく企画されており、多くの人々が非常に楽しく参加することができた。開催1週間前に、エチオピアからアズマリやダンサーがノルウェー入りし、開催までのあいだにトロンハイム・ワールド・ミュージック・アンサンブルと合同練習をおこなった。7月4日には、エチオピア音楽とノルウェー音楽の合同コンサートが開催され、参加者から何度もアンコールが続くほどの盛会ぶりであった(写真4)。7月5日は、Rita Pankhurst氏の誕生日で、お祝いの言葉が述べられた後に、参加者が誕生日

の歌を大合唱するなどアットホームな雰囲気でパーティがおこなわれた。7月6日のエクスカーションでは、見学した鉱山博物館のなかでHarald Aspan氏が所属する合唱団が音楽コンサートを開催してくれ、非常に心温まるもてなしをうけた(写真5)。

ノルウェーの物価が日本の4倍という事実には最後まで慣れることはできなかったが、白夜と楽しい企画の数々に思わず徹夜してしまいそうになり、非常に楽しく充実した時間を過ごして帰国の途についた。

注

※1 西崎伸子「第15回国際エチオピア学会に参加して」(『JANESニュースレター』2004年 No.10)31ページ。この報告によればハンブルグでの大会は、学会の歴史のなかで最大規模の大会であった。

※2 第16回ICESプログラム(2007年10月)によれば19名であったが、発表キャンセル2、当日参加1で合計18名であった。エリトリアからの参加はなかった。

※3 発表キャンセル2、当日登録1。松波は映像セッションと口頭発表セッションの両セッションで発表、川瀬は複数の映像作品を映像セッションで発表した。

※4 NOSEB(Norwegian Center for Child Research)は、1982年に設立された研究所で、世界のさまざまな地域の子どもに関して学際的な研究をおこなっている。スタッフは、博士課程の学生も含めて25名おり、エチオピアからの留学生も受け入れている。

<http://www.ntnu.no/noseb/english>

※5 増田研「ハマル民族誌映画上映会に寄せて」(『JANESニュースレター』1998年 No.7)61~63ページ。

※6 事務局によれば掲載数を減らして刊行する可能性が高い。発表ペーパーは、2007年10月まで、第16回国際エチオピア学会のウェブサイトに掲載されていた。

(かねこ・もりえ/日本学術振興会・京都大学
大学院 アジア・アフリカ
地域研究研究科)

◆Plenary and joint sessions

Monday 2 July (14:15–15:45)

Music

Fumiko Ohinata, Progress of the UNESCO/Norway Funds-in-Trust cooperation project(2005–2008): “Ethiopia-Traditional Music, Dance and Instruments”.

16:15–18:00

Elections and Human Rights

Merera Gudina, The May 2005 Elections and the Future of Ethiopian Democracy.

Chuck Schaefer, Calculated Costs: Electoral Victory and Human Rights Infractions Following the May 2005 Elections in Wallega.

Tuesday 3 July (09:00–10:00)

Islam

Haggai Erlich, The Grandchildren of Abraha.

Hussein Ahmed, The Coming of Age of Islamic Studies in Ethiopia: The Present State of Research and Publications.

Wednesday 4 July (09:00–10:00)

Ecological History

Donald Crummey, Exploring Landscape Change in Ethiopia: Evidence from Imaging and its Interpretation.

James C. McCann, Maize and the Agro-Ecology of Malaria: The Latest Evidence from Ethiopia.

Children

Eva Poluha, Research on Ethiopian Children: Subjects Covered and Possible New Themes.

Film and theatre

Fekade Azeze, The Plays of Yäfeqer'na Yä-agälgelot Mahbär(The Society of Love and Service): History and Themes.

Itsushi Kawase, Introduction to the film panel.

Thursday 5 July (09:00–10:00)

History: The Student Movement

Randi Rønning, Balsvik Addis Ababa University in the Shadow of the Derg, 1974–1991.

Bahru Zewde, The Ethiopian Student Movement Revisited: An Exercise in Oral History.

Education

Berhanu Bogale, Language Determination in Ethiopia: What Medium of Instruction?

Tekeste Negash, The Curse of English as a Medium of Instruction in Ethiopian Education System.

研究発表

A. History and Archaeology

Tuesday 3 July 2007

10:30–12:30 Archaeology and Heritage

Asfawossen Asrat, The Temple of Yeha: Geo-Environmental Implications for Its Site Selection and Preservation.

Kassaye Begashaw, The Archaeology of Islam in Shoa.

Belle Asante, Merging Past and Present: Local Level Conservation of Material Heritage in the Museums of Harar, Ethiopia.

13:30–15:30 Medieval History

Getatchew Haile, A Miracle of the Archangel Uriel Worked for Abba Giyorgis of Gasécca.

Michael Kleiner, Ras Wäsän Säggäd, a Pre-Eminent Lord of Early 16th Century Ethiopia.

Andreu Martínez d'Alòs-Moner, The Burtukan of Ethiopia: Between Military Elite and Marginalised Caste.

Rifa Pankhurst, Taitu's 16th Century Foremothers: Queen Eleni, Queen Sabla Wangel and Bati Del Wombara.

16:00–18:00 Medieval History and Zāmānā Mesafent

Marie-Laure Derat, Lasta after the Zagwé dynasty (13th–16th centuries).

Claire Bosc-Tiessé, Art as a Regional Marker? Questions on the Political Identity and on the Government of Lasta (ca.1660–1750).
 Evgenia Sokolinskaia, Rebels and King-Makers of the Zämänä Mäsafent: Kenfu and Kenfu.
 Denis Nosnitsin, Ethiopian Church in the 18th–19th Centuries: The Time of the Princes.

Wednesday 4 July 2007

10:30–12:30 History and Symbolism

Shiferaw Bekele, The Place of the Upper Abbay in the Symbolisms and Mythology of Medieval Ethiopian History.

Izabela Orlowska, Symbolism and Ritual in Ethiopian Political Culture, 1850s–1930s.

Alain Gascon, Shäwa, Ethiopia's Prussia. Its Expansion, Disappearance and Partition.

Serge Tornay and Estelle Sohler, Imprints of the Time : A Study of the Hundred Ethiopian Seals of the Boucoiran collection.

13:30–15:30 History

Toby Berger Holtz, The Hall Family and Ethiopia: A Century of Involvement.

James Quirin, Using Cases to Teach Ethiopian, African and World History.

Matteo Salvatore, "Knowledge is an immovable eternal law which rules the world": Gäbre-Heywät Baykädañ's Blueprint for Ethiopia's Sovereign Modernity.

Thursday 5 July 2007

10:30–12:30 History

Richard Pankhurst, Economic and Social Innovation during the Last Years of Emperor Menilek's Life and the Short Reign of Lej Iyasu.

Wolbert G.C. Smidt, The Foreign Politics of Lej Iyasu in 1915/16 according to Newly Discovered Government Papers.

Tesema Ta'a, Defying the System: The Forgotten Rebellion of Abbaa Xoonnee in Wallagga.

Dirk Bustorf, Imam Sugato Zäyni. A War-lord of the Selt'é Gogot.

13:30–15:30 History

Tsegay B. Gebrelibanos, The Ethiopian Salt Trading System in the 20th Century: A View from Mäqäla, Northern Ethiopia.

Lukian Prijac, History of the Czechs in Ethiopia.

Eleonora Sergeevna, Lvova "Deux ans de séjour en Abyssinie ou vie morale, politique et religieuse" par R.P.Dimethees as an issue for the history and culture of Ethiopia.

Shalva Weil, Beta Israel Who Studied Outside Ethiopia 1905–1935.

Friday 6 July 2007

10:30–13:30 Contemporary History

J. Calvitt Clarke III, A Japanese Scoundrel's Skin Game: Japanese Economic Penetration of Ethiopia and Diplomatic Complications Before the Second Italo-Ethiopian War.

Giampaolo Calchi, Novati Colonialism as State-Maker in the History of the Horn of Africa: A Reassessment.

Giulia Bonacci, Pan African Politics of Imperial Ethiopia: The Shashemene Land Grant to the "Black People of the World."

Theodore M. Vestal, The Lion of Judah at Camelot: U. S. Foreign Policy towards Ethiopia as Reflected in the Second State Visit of Emperor Haile Selassie to the United States.

B. Anthropology

Tuesday 3 July 2007

10:30–12:30 Pastoralism and Modernisation

Gen Tagawa, Transformation of the Age System of the Borana-Oromo People of Southern Ethiopia: Social Changes in a Pastoral Society Incorporating into a Modern State.

Chikage Oba, The Forming of Town in Pastoral Society and Its Meaning—The case of Borana in South Ethiopia.

Ayalew Gebre, When Pastoral Commons are Privatised: Resource Deprivation and Changes in Land Tenure Systems among the Karrayu in the Upper Awash Valley Region of Ethiopia.

Assefa Tolera, Land Tenure and Alienation: The Case of Jidda Kiramu Woreda, Wallagga.

13:30–15:30 Ethnicity and Identity

Susanne Eppele, Culture Contact and Identity-The Multiethnic Composition of the Bashada of Southern Ethiopia.

Fekadu Adugna, Ethnicity at the Border: Macro-Politics and the Challenge of Ethnic Identification around Oromo-Somali Border.

Sayuri Yoshida Social Discrimination against the Manjo in Transition: Seeking a 'Salad-bowl' Coexistence through Conversion.

Taddesse Berisso Changing Alliances of Guji-Oromo and their Neighbours: State Policies and Local Factors.

16:00–18:00 Ethnicity and Violence

Nicole Poissonnier, Killing—A Rite of Passage?

Takeshi Fujimoto, Violence in the Middle Omo Valley: A Preliminary Analysis of Armed Conflicts Experienced by the Malo, Southwest Ethiopia.

Toru Sagawa, Trans-ethnic Cross-cutting Ties as the Potential for Peace Construction in the Daasanetch of Southwestern Ethiopia.

Wednesday 4 July 2007

10:30–12:30 Medical Anthropology

Cressida Marcus, "Everyday I buy a glass of tap-water and a handful of q'ollo": Urban Hunger, Fasting, and the Meaning of Food for Ethiopian Orthodox Christians.

Eliana Pili, Aynä t'ela: The Shadow of the Eye. Healers and Traditional Medical Knowledge in Addis Ababa.

Yvan Houtteman, Concepts of Illness and Healing among the Daasanetch of South West Ethiopia.

13:30–15:30 People on the Periphery

Berihun M. Mekonnen, The Gumuz: Are They Shifting Cultivators?

Toru Soga, Sharing System of the "Scarce Resources" in Southern Ethiopia.

Jean Lydall, Cultural Encyclopaedias for South Omo.

Ivo Strecker, The Relevance of Rhetoric for Ethiopian Studies.

Thursday 5 July 2007

10:30–12:30 Anthropology of the South

Birgitta Kimura, Beads in Konso, Southern Ethiopia.

Ren'ya Sato, Dynamics of Subsistence and Reproduction among the Majangir: Preliminary Report on Demographic Reconstruction.

Morie Kaneko, Variations in Pottery Making in Southwestern Ethiopia: A Comparative Study of Community-based Technologies.

Hermann Amborn, The Phallsification of the kallačča: or, why sometimes a Cigar is a Cigar.

13:30–15:30 Anthropology

Solomon Addis, Ethiopian Immigrant Soccer in America: A History of Identity Politics and Nationalism.

Magnus Treiber, Leaving Asmara-Individual Migration Projects of Eritrea's 2nd Generation of Refugees.

Alexander Kellner, The Mythical Reflexivity of the Burji. Presentation of an Ethnological-linguistic Methodology for Interpreting Oral Literature.

C. Politics and Development

Tuesday 3 July 2007

10:30–12:30 Politics

Siegfried Pausewang, Political Conflicts in Ethiopia: In View of the Two-Faced Amhara Identity.

Seifudein Adem, Africanity, African Intellectuals and the Study of Ethiopia: Thoughts on Ali A. Mazrui's Contributions.

Petros Berga Sorballa, Towards a Culture of Dialogue and Mutual Understanding in Ethiopia: The Significance of Bakhtin's Dialogical Philosophy for the Ethiopian Context.

Terrence Lyons, The Ethiopian Diaspora and Homeland Conflict.

13:30–15:30 Politics

Yacob Arsano, The Geopolitics of Northeastern Africa: Prospects for Regional Security.

Katarzyna Hrycko, US Involvement in Africa, with Special Attention Paid to Ethiopia as an American Ally between 1941 and 1974.

Scarlett Lopez, Freeman Regional Security Complex with Ethiopia as the Source of Eritrea's Defense Policy.

Alessandro Triulzi, Badme: Competing Claims and Symbology along a Contested Border between Ethiopia and Eritrea.

Wednesday 4 July 2007

10:30–12:30 Politics

Gelinet Assefa, Legal Institutional Development and Social order in Gurage Area of Ethiopia.

Monika M. Sommer, Perceptions of Justice of Some of the People Living in the Ethiopian Region of Gambella: Their Relevance to Conflict Transformation.

Dereje Feyissa, Making Sense of the Conflict Situation in the Gambella Region in National Terms.

Momoka Maki, Wayyane in Tigray and the Reconstruction of the Ethiopian Government in the 1940's.

13:30–15:30 Political Culture and Elections

Chiyyuki Kozuka, Consensus and Democracy in a Multi-Ethnic Society: A Case Study of Parliamentary Discussion in Ethiopia.

Lahra Smith, Political Violence and Democratic Uncertainty In Ethiopia since the 2005 Elections.

Solomon Ali, Is Pluralism a Fiasco in Ethiopia?

Thursday 5 July 2007

10:30–12:30 Development and Environment

Clarisse Guiral, Gardens of Eucalyptus and Festuca in the Highlands of Central Ethiopia.

Tesfaye Awas, Ethnobotanical Study of Medicinal Plants in Kafficho People, Southwestern Ethiopia.

Axel Baudouin, Welenkomi 35 Years Later.

Yoshimasa Ito, Forest Utilization in the Highland Forest Area of South Western Ethiopia.

13:30–15:30 Development and Environment

Abeje Berhanu, The Ethiopian Extension and the Farmer: A View from the Farm.

Gelnet Alemu, The Challenges of Land Tenure Reform to Structural Transformation of the Economy: Lessons from Country Experiences.

Yuka Kodama, The Effects of Fair Trade on Coffee Producers: A Case Study of Ethiopian Coffee Cooperatives.

Sisay Asefa, The Political Economy of Rural Poverty and Food Insecurity in Ethiopia.

16:00–18:00 Rural Development

Degefa Tolossa, An Assessment of the Role of Local Institutions and Social Capital in Household Food Security: A Case Study at Two Rural Communities in Oromiya Zone, Amhara Regio.

Yeraswork Admassie, Lessons from the Food-for-Work Experience of the 1970s and 80s: The Case of Project Ethiopia 2488–Rehabilitation of Forest, Grazing and Agricultural Lands.

Woldeamlak Bewket, Rainfall Variability and Agricultural Vulnerability in Ethiopia: A Case Study in the Amhara Region.

Shumete Gizaw, Poverty, Food Insecurity and Livelihood Strategies in Rural Gedeo: The Case of Two PAs, SNNPR, Ethiopia.

Friday 6 July 2007

10:30–12:30 Resettlement

Tesfaye Tafesse, The Predicaments of Amhara Migrant-settlers in East Wollega Zone, Ethiopia.

Gebre Yntiso, New Resettlement in Ethiopia: Concerns about stakeholder participation and environment.

Derese Gefachew, Resettling the Discourse on "Resettlement Schemes": Towards a New Approach.

Zelalem Tefera, State Sponsored and Self-initiated Resettlements: Their Impacts on the Ecology of Resettlement Areas (The case of Angar Gutin in Eastern Wollega).

D. Urban Studies, Children, Gender, and Human Rights

Tuesday 3 July 2007

10:30–12:30 Urban Studies

Solomon Mulugeta, The Economic Base of Ethiopian Urban Centers.

Bjørn Røe, Urban Challenges in Addis Ababa: Ph.D and Master Theses from Department of Urban Design and Planning, Faculty of Architecture and Fine Art, NTNU, Trondheim.

Yigalem Mahleme, Manipulating Ambiguous Rules: Informal Actors in Urban Land Management, a Case Study in Kolfe-Keranio Sub-city, Addis Ababa.

13:30–15:30 Urban Studies

Elias Yitbarek, "From Renting to Owning: Saving and Credit Co-operative Based Tenure Transformation and Its Spatial Implications in Addis Ababa".

Sissel H. Eriksen, Charity and Business: Microfinance in Ethiopia.

Tebarek Lika, Promises and Perils of Housing and Urban Redevelopment Projects in Ethiopia: A Policy Perspective from a Study of Female-headed Households in Addis Ababa.

16:00–18:00 Urban Studies

Camilla Louise Bjerkli, Informality as a Solution: An Analysis of the Informal Plastic Recovery System in Addis Ababa, Ethiopia.

Setargew Kenaw, Shopping Centers as Black Boxes: A Reflection in Philosophy of Engineering Design.

Roberto Bianchini, The Geography of the Ancient Walled City of Harar: Urban Structure, Cultural Heritage, and Population Diversity.

Wednesday 4 July 2007

10:30–12:30 Children

Berihun M. Mekonnen and Harald Aspen, Early Marriage and the Campaign against It in Ethiopia.

Alebachew Adem, Nurys My Shop is My School: Children's Perspectives on Work and School in a Multi-ethnic Town in Southern Ethiopia.

Girmachew Adugna, Church as a Refuge for Marginalized Children in Urban Ethiopia.

Tatek Abebe, Shikella: Business Boys and Girls in the Context of Begging and Street Work in Addis Ababa.

13:30–15:30 Gender

Anne Britt Flemmen, Friendship among Women in Addis Ababa.

Echi Christina Gabbert, with Ginno Ballo, How we let go war: Women's Perspectives on War and Peace in Arbore, Southern Ethiopia.

Yukio Miyawaki, Idioms of Alien Cultures and Resistance of Women: Ayana Possession Cult of the Hor in South Omo.

Emebet Mulugefa, Crossing the Hurdle: Survival Strategies of Poor Women in Addis Ababa.

Thursday 5 July 2007

10:30–12:30 Human Rights

Menen Hailu, Human Rights of Ethiopian Women Living with HIV/AIDS.

Marii Tolo Østebø Wayyuu, Women's Respect and Rights among the Arsi-Oromo.

Frances Olsen, Critical Evaluation of Human Rights Strategies: A Case Study of CEDAW and Women's NGOs in Ethiopia.

Alexander Atfilio, Understanding Famine in Ethiopia: Poverty, Politics and Human Rights.

13:30–15:30 Human Rights

Kjetil Tronvoll, Human Rights in Federal Ethiopia: The Ethnic Factor.

Getachew Assefa, Federalism and Legal Pluralism in Ethiopia: A Study of their Impacts on the Protection of Human Rights.

Solomon Gashaw, Human Rights and Ethnic Federalism in Ethiopia.

Sisay Alemahu, Justiciability of Human Rights in the Federal Democratic Republic of Ethiopia.

16:00–18:00 Media

Agaredech Jemaneh, Portrayal of HIV and AIDS cases by the Media.

Amanuel Gebru, Health Communication, the Broadcast Media and the Case of Pro Pride's HIV-AIDS Programming.

Meseret Chekol Reta, A Press in Dire Straits: What to Do to Save the Private Press in Ethiopia.

Mekuria Mekasha, Ethiopian Media Landscape.

E. Linguistics and Literature

Tuesday 3 July 2007

10:30–12:30 Linguistics

Rainer Voigt, North vs. South Ethiopian Semitic.

Keffyalew Gebreslassie, Does Tigrinya have Serial Verb Constructions? An HPSG Account.

Olga Kapeliuk, Verbless Relative Clauses in Ge'ez and Their Equivalents in Amharic and Tigrinya.

Stefan Weninger, Sounds of Ge'ez – How to Study the Phonology of an Ancient Language.

13:30– 15:30 Linguistics

Azeb Amha, From Gender Identification to Assertion: on the use of -tte and -tta in Zargulla.
Bedilu Wakjira, Coordinating Construction in Kestaniniya.
Getahun Amare, Relative Clause Constructions in Argobba.

16:00– 18:00 Linguistics

Solomon Teferra, Amharic Speech Recognition: Past, Present and Future.
Jérémie Hornus, The Ethiopic Writing System: A Typographic Approach.

Wednesday 4 July 2007

10:30– 12:30 Linguistics

Tolemariam Fufa, The Middle in Ethiopian Afroasiatic Languages.
Maria Bulakh, Lexicon and Grammar of Epigraphic Geez: Nota Genitivi za-in Epigraphic Geez.
Baye Yimam, inġa in Amharic.
Ewa Wolk, A Hundred Ways of Expressing Approval and Disapproval in Amharic.

13:30– 15:30 Linguistics

Gebre Bizuneh, Xamtanga Phonology and Its Unique Vowel System.
Anne-Christie Hellenthal, Thoughts on Relativization in Sheko.
Binyam Sisay, Polar Interrogatives in Koorete.
Andreas Joswig, The Tones of Awngi.

Thursday 5 July 2007

10:30– 12:30 Linguistics

Moges Yigezu, Proto-Aroid Phonology: Revisiting the Genetic Position of Aroid Languages.
Kebede Hordofa, The Morphology of Nominative Case in Oromo.
Wondwosen Tesfaye, Definiteness in Diraytata.
Hirut Woldemariam, The Morphological Isoglosses Distinguishing East Omoto from North Omoto and the Position of "Ganta".

13:30– 15:30 Geez Literature

Daniel Alemu, Ethiopian Manuscripts in the Holy Land.
Steve Delamarter, Catalogues and Digitization for Previously Uncatalogued Ethiopian Manuscripts in England and North America.
Tedros Abraha, A Preliminary Study on the Gädl of Tāwāldä Mādāñ and Fiqəto.
Maija Priess, Defining the Age of the Ethiopic Anaphora of St. Yohannes Chrysostomos.

16:00– 18:00 Modern Literature

Yonas Admassu, What Were They Writing About, Anyway? Two Phases of Pre-1974 Amharic Literature (Monarchy and Modernity).
Galina Balashova, New Socio-political Situation in Ethiopia and Its Reflection in Literature and Theatre.
Ekaterina Gusarova, The Oromo as Recorded in Ethiopian Literature.

Friday 6 July 2007

10:30– 12:30 Literature and Folklore

Didier Morin, Orality in the Chronicle of King Tewodros II.
Birhanu Tefera, Notes on Imagination, Literariness, Facts and Fictionality in War Memoirs.
Getie Gelaye, Amharic Praise Poems Related to Emperors Tewodros II and Yohannes IV.
Selamawit Mecca, Women Saints in Ethiopian Hagiographies.

F. Music and Fine Arts

Tuesday 3 July 2007

10:30– 12:30 Ethiopian Music and the Diaspora

Kay Kaufman, Shelemay Music in the Ethiopian American Diaspora: A Preliminary Overview.
Kifle Assefa, The Significance of St. Yared's Music in the Age of Globalization.
Wendy James, Music, Song, and Dance of the Blue Nile Borderlands: Revivals in the Refugee Context.

13:30–15:30 Music Education and Research

Cynthia Tse Kimberlin, *Diverse Connections as a Model for the 21st Century: Yared Music School (Addis Ababa, Ethiopia)*.

Woube Kassaye, *The Practices of Music Research in Ethiopia: Successes and Challenges*.

Ezra Abate, *Ethiopian kiñit (scales): Analysis of the formation and structure of the Ethiopian scale system*.

16:00–18:00 Preservation and Documentation of Traditional Music

Olivier Tourny, *'Kedassie'. A Kemant (Ethiopian Agaw) Ritual*.

Simone Tarsitani, *Digital Sound Archives and Libraries: Meanings, Problems and Perspectives of Preserving and Making Accessible Recorded Sound in Ethiopia*.

Leila Qashu, *The Arsi Oromo Society Viewed through its Wedding Music*.

Wednesday 4 July 2007

10:30–12:30 Fine Arts: Creativity and Commoditization

Leah Niederstadt, *Making Music, Making Money: The Economics of Ethiopian Circus Bands*.

Makda Teklemichae, *"Traditional" and "Modern": Contemporary Women Artists in Ethiopia*.

Neal Sobania, *The "Adit" Factor: Tradition and Creativity in the Production of Contemporary Aksum Icons*.

13:30–15:30 Fine Arts

Elisabeth Biasio, *Contemporary Ethiopian Painting in Traditional Style: Beginning and Change*.

Girma Fisseha, *An Early 20th Century Private Collection of Ethiopian Paintings Formed by Wilhelm Freiherr von Schoen, German Ambassador to Ethiopia 1932–1934*.

Veronika Six, *A Second Version of the Pictorial Presentation of the Journey of the Queen Makéda, 066*.

Girma Moges, *The Connection of a Traditional Painting with an Aspect of Abay-Ethiopian Region's Cultural History*.

G. Islam, EOTC, Education

Tuesday 3 July 2007

10:30–12:30 Islam

Valeriya Mironova, *Islamisation of Ethiopia: Myth or Reality?*

Terje Østebø, *Religious Change and Islam: The Emergence of the Wahhabi-movement in Bale, Ethiopia*.

13:30–15:30 Islam

Hussein Ahmed, *From Local to National Prominence: The Life and Achievements of Shaykh al-Hājj Muhammad Thānī b. Habīb b. Bashīr (1914–1989): Ethiopian Muslim Scholar, Teacher and Spiritual Leader*.

Ahmed Hassen, *Centres of Traditional Muslim Education in Northern Shāwa (Ethiopia): A Historical Survey with Particular Reference to Twentieth Century*.

Patrick Desplat, *The Making of an Islamic City in Ethiopia-Manifestations, Contestations and Ambivalence of Saint Veneration in Harar*.

16:00–18:00 Islam

Yasuo Matsunami, *On the Filming of "Pilgrimage to Ya'a"*.

Minako Ishihara, *Spirit Possession and Pilgrimage-The Formation and Configuration of the Tijjānī Cult in Western Oromoland*.

Alessandro Gori, *Two Contemporary Ethiopian Muslim Scholars' Contribution to the Study of Arabic Grammar*.

Wednesday 4 July 2007

10:30–12:30 Ethiopian Orthodox Tāwahedo Church

Joachim Persoon, *Monastic Spirituality and the Popularisation of Ecology in Ethiopia*.

Leonardo Cohen, *Shabot An Ethiopian Commentary on Psalm 104:26 According to a Jesuit Source*.

Mersha Alehegne, *The Position of Woman in the Creation Story According to the Traditional Biblical Commentary of the Ethiopian Orthodox Tāwahedo Church*.

13:30–15:30 Ethiopian Orthodox Tāwahedo Church

Christine Chaillot, *Traditional Teaching in the Ethiopian Orthodox Church: Yesterday, Today and Tomorrow*.

Solomon Dejene, *Reinterpreting Iddir*.

Thursday 5 July 2007

10:30–12:30 Education

Ayalew Shibeshi, Secondary School Teacher Deployment in Ethiopia: Challenges and Policy Options for Redressing the Imbalances.

Jana Zehle, Learning Difficulties and Student Dropouts in the First Cycle Government Primary Schools in Ethiopia.

Befekadu Zeleke, The Socio-cultural and Traditional Barriers to Afar Girls' Primary School Participation.

Katrin Seidel, Changes in Ethiopia's Language and Education Policy—Pioneering Reforms?

13:30–15:30 Education

Tamirie Andualem, Trend Analysis of Males' and Females' Education in Different School Levels and School Types in Addis Ababa.

Wossenu Yimam, The System of Evaluating Instructors' Performance in the Public Universities of Ethiopia: Addis Ababa University in Focus.

Miressa Neme, ICT Integration in Addis Ababa University, College: ICT Policy, Preparedness and Infrastructure.

H. Film Panel: Rethinking Ethiopian Studies through Film Representation

Program 1. Filmmaking and Soul Searching

"Tezkar, an ethiopian pledge never to forget", 1999, 53min. English Subtitles by Makeda Ketchem

"The Return of the Obelisk", 2007, 64min. English Subtitles by Samson Giorgis

Program 2. Camera as Evidence of Communication and Collaboration

"Ethiopia Hotel", 2006, 23min. English Subtitles by Itsushi Kawase

"Bury the Spear!", 2004, 72min. English Subtitles by Ivo Strecker and Alula Pankhurst

Program 3. Filming "Pilgrims"

"Lalibalocc: Living in the Endless Blessing", 2006, 30min. English Subtitles by Itsushi Kawase

"Pilgrimage to Ya'a: Feasting the consumers of the sacred", 2006, 25min. English Subtitles by Yasuo Matsunami

"Bury the Spear!", 2004, 72min. English Subtitles by Ivo Strecker and Alula Pankhurst

Program 4. A new approach to Anthropological Knowledge: Rethinking Ethnographic Film

"Duka's Dilemma", 2001, 87min. by Jean Lydall and Kaira Strecker

"CHAALO, the voices of mourning", 2004, 50min. by Thomas Osmond and Jean-Marc Lamoure

Program 5. Unexplored Historical Film Materials (presented by Wolbert Smidt)

Ethiopia in 1935—Historical film material of Martin Rikli.

Ethiopia in the 1950s—Historical film material from the "Wochenschau" (reportage).

Ethiopia in 1956: The first film produced by an Ethiopian social anthropologist, Mekonnen Desta (in collaboration with Manfred Purzer): 'Ethiopia, an Empire between yesterday and tomorrow' (in German).